

JAPANESE

そのような民族の大多数、特にいくらかの文明化を享受していた人々は、人と動物を区別するものがなくなり、ジャングルか動物小屋のような生活になってしまうことがないよう、人々の生活を規制する法秩序が必要であると考えていました。

ヒジャーブ 単なる服装以上の もの

法や規則、慣習、行動における男女間の関係を適切なものに規制、調整することについて歴史を通して多くの努力や選択があり、それらを調べあげて数え尽くすことは困難です。しかし歴史書、人類学書は、完全な露出、男女ともに性的に奔放で無秩序な状態を問題ないものとする民族、女性を心配するあまり鎖で拘束するような民族、一方、男性を隠し女性は隠さない民族、あるいは一部を覆い隠し一部を露出する民族等、それ以外語りつくすことが困難な多くの民族の存在を私たちに伝えています。



LAUNCHING
CURIOSITY
JUST SCAN IT!!



THIS IS
ISLAM

イスラームにおける男性と女性の関係

イスラームにおける男女関係の規定は、歴史や地理的要因に影響を受け限定された人の考案ではなく、すべての時代、地域に有効な完成された制度です。人々のためにアッラーがクルアーンのなかに下し、高貴な使徒ムハンマド様（彼に祝福と平安あれ）によって実践されたものです。

それは女性の男性に対する立場によって、その性質と範囲は異なってきます。女性を尊重する礼節、諸規定によって統合された法秩序であり、予防は治療に優るといふ原則を基としますが、女性に対する侵害、侮辱、弱体化からの保護を目的としたクルアーンの明文、高貴な使徒の言葉が優先されることを強調します。社会に柔軟性や活力が失われることのないような形で女性を保護すると同時に、女性の成功も男性の成功も制限されてしまうことがないように同等に配慮するのです。

仕事と学業における関係:

男性が女性の夫、近親の一人、父親、息子、兄弟、父方のおじ、母方のおじ、兄弟姉妹の息子でなければ、イスラームはそのような男性と接する際には特別な規則や、求められる品性のあり方を定めました。その中には:

1. 目を伏せる事:

アッラーは男女共に目を伏せることを命じました。性的興奮を起こすようなものを見ないようにするためです。それは貞節さ、行き過ぎた欲望、性的被害からの保護につながる道だからです。制限なしに何にでも視線を送ることは、犯罪や痴漢へつながる道です。至高なるアッラーは言いました。

「信仰者たちに言いなさい、彼らの視線を下げ、恥部を守るようにと。それは彼らにとってより清廉だ。まことにアッラーは、彼らの行うことを熟知なされるお方。」(光章30節)



2. 閉じられた空間で二人きりにならない:

イスラームは、男女が二人だけで誰の目にも触れない場所にいることを禁止しました。イスラームが言うように迷いへの道だからです。それは、痴漢被害や強姦事件などで満たされている今日のメディア報道で判明していることです。



3. ヒジャーブ(覆い隠すこと):

アッラーは男性にではなく、女性に対してヒジャーブを定めました。彼女らに美しさ、惹きつける要因となる魅力をアッラーは授けたからです。女性が男性に魅了される以上に、男性は女性に魅了されます。このようなことから、古代の歴史から今日に至るまで、女性が男性の欲望のために利用されることがほとんどで、逆ではありません。これは今日、さまざまな異なるメディアにおいて私たちがはっきりと目にしていることでもあるのです。



なぜ、イスラームはヒジャーブ(覆い隠すこと)を定めているのか:

- 女性が生活、社会、学問的、実務的なさまざまな分野において、女性の尊厳や貞節さを守りつつ、より良い形で使命を果たすことができるようにするためです。
- 性的魅了、刺激を減少させます。また、本能的な欲求を満たす存在、快楽と楽しみのための道具として女性を見るのではなく、男性と同じく文化的、学問的な要素を備えたひとりの人間として接することを思い起こさせるものでもあります。

このように、ムスリムたちにとってヒジャーブはただの服装ではありません。そうではなく、男女間の関係を規定する人間の主からの法、道徳の教えとしての制度です。西暦6世紀の農場にいる人たち、あるいは21世紀ナノ科学の実験室にいる学者、研究者でも同じことです。

イスラームのヒジャーブの批判者たちは、歴史上最も偉大な女性の絵が(ちょうど純潔な聖母マリアの絵がそうであるように)、ヒジャーブ姿で描かれていて、それはムスリマ女性のヒジャーブと酷似していることに関して知らないふりをしています。

